○財務省告示第四十二号

三 業 \mathcal{O} + ょ 法 た う 六 ば 施 に 条 行 事 改 第 規 業 正 七 則 項 第 法 し、 に 三 施 健 基 + 行 康 づ 六 規 き 条 増 則 財 第 進 \mathcal{O} 法 務 七 大 部 \mathcal{O} 項 を 臣 及 部 び 改 が を 定 第 正 三 改 す 8 + る 正 る す 件 省 六 る 条 令 平 法 の 二 (令 律 成 第 和 十 平 三 五 元 年 成 年 項 十 二 財 三 \mathcal{O} 十 規 務 年 定 省 月 法 令 12 財 第 律 基 務 第 省 づ 兀 号) 七 告 き、 + 示 八 第 に た 号) ょ ば 七 百 る 改 +事 附 則 号 業 正 後 第 法 施 \mathcal{O} \mathcal{O} た 条 全 行 ば 部 第 規 を 則 号 次 事 第

令和元年六月十四日

1

12

掲

げ

る

規

定

 \mathcal{O}

施

行

 \mathcal{O}

日

か

ら

適

用

す

る。

財務大臣 麻生 太郎

こに 第 す 12 に た る <u>つ</u> 掲 7 る ば 几 文 規 た 表 げ 項 定 言 0 ば は る 第 示 に V) す \mathcal{O} 文 部 7 別 0 る 事 言 号 分 7 は 主 以 業 表 \mathcal{O} \mathcal{O} 7 別 要 中 法 第 上 面 は 表第二に な 施 以 積 当 別 面 行 及 别 上 が 該 表 規 び 表 \mathcal{O} 千 主 第 数 則 第二 別 別 八 撂 要な面につき一 が 表 表第二に掲げ 百二十平 昭 げる文言の一以 に に 第 掲げ で 和 撂 六 あ に げ + る文 る る 撂 方ミリ 場 年 文言 げ 大 合 言 る文 る文言 を限 に 蔵 0) (紙 メ 上 は 省 言 り設け 令 以 巻たば \mathcal{O} 1 及び (紙巻たばこ、 第 同 上 ル 条 五. 以 5 以 別 第三 号 。 及 ۲, 上 れ 上二千 表 び た 部 並 項 別 以 第三に掲げる文言」 葉 び 各 下 表 分 巻 に 六 号 第三に 葉巻 別 たばこ、 百平 へ そ 列 規 表 記 則 0) 第三 たばこ、 方ミリ 掲 以 面 外 と げ 積が パ に 1 \mathcal{O} る 掲 1 メ う。 部 · 当該 文言 パ げ とあ プ 1 分 る イプたば た 中 1 主要な 文 次 ば ル る 第三 _ 言 未 0 別 項 及 + 面 満 は 表 第 び 第 六 \mathcal{O} \mathcal{O} 及 刻 号 条 場 別 面 に 合 び 4 に 第 積 表 に た 同 12 規 刻 第 撂 六 + 条 あ 定 4 ば げ 項

方ミ 平 巻 す を有 げ 分の る 12 び お た \vdash る る。 当 た 掲 方 に ル 別 面 7 0 ij 文言 積 該 て 及び とする。 五を乗じて得た面 は げ ば 掲 す ? 表 メー げ 同 る IJ 主 る 第 当 要 別 文 表 メ 以 る r. 面 (紙 該 な 文言 表 示 言 に 葉 1 そ 上 巻たば 面 第三に 面 部 を 巻 で 0) 掲 ル 1 以上で に 積 分 表 0) た 以 あ 他 げ \mathcal{O} ル つ が 示 未 る ば 上 あ 消 る 千 き 撂 と、 すること」 を表示すること 費 ٢, \mathcal{O} Ł る 文 満 あ 積 げ 八 場 容 者 言 \mathcal{O} \mathcal{O} を 葉 るも 百二十 る文言 (当該 器包 同 パ 合 場 に が を 巻た 限 項 1 に 限 合 表 り設 \mathcal{O} 第 装 プ あ 般 示 る。 Iを表 ば に 苹 12 面 と、 匹 け 限 たば に あ に 積が千三百平方ミリメートルを下回 し、 つ 方ミリ 号 る。 て 以 5 あ 0 紙 示すること。 中 (全ての主 パ 同 は れ 巻等 て \sum_{i} 下 つて 表 項 別 た イプたばこ及び 及 は メ 示 第 に、 部 は たば び 部 別 表 表 二号中 分 刻 別 表 1 分 示 第二に 別 こを (その 当 み 第 部 表 ル 一要な \mathcal{O} 表第一に こ の を た 該 第 一に 分 面 下 取 ば 表 積 面 同 掲 面 場 口 掲げ とい 又 こに が 面 り が げ 刻みたばこに 号 一合に 積 る場 表 千 に 出 は 掲 がが に る文言 う。 つき一 面 すと考えら 別 八 る文言 <u>つ</u> 当 げ 規 お 合に 百二 1 である容器包 る文言 表 該 定 7 第 7 主要 て、 す は、 (紙 を 限 に、 + は \mathcal{O} る に る場合には、 平 な 0) 別 0 巻たば 表 千 ` **(**) 面 表 り 撂 方 表 れ を 凣 面 を表 て 3 設 第二 \mathcal{O} げ 別 示 る 限 百二十 装を除く。 は 面 け IJ 表 部 る 面 主 ŋ 積に十二 別 示 第二 5 に 文 要 分 を 設 メ 表第二 Ļ ħ · 平 方 掲 葉 言 な \mathcal{O} 1 け 千三百平方ミリメ た お 部 に げ 面 う。 巻 5 \mathcal{O} 1 面 · 分 の 又 ? る 掲 積 ル た n \mathcal{O} に は 分に、 文 げ IJ ば 以 が 以 う た 及 撂 五. 別 言 لح る 下 上 X 部 び を乗 げ 表 千 0) 文 あ 分 別 第二に る 千 言 六 別 0) 表 じ る 開 \vdash 文 1 六 百 表 号 第 ル て \mathcal{O} け 言 プ あ 及 紙 百 平 لح 得 に 掲] は 第 \Box \mathcal{O}

第 に 表 匹 ば \mathcal{O} 未 \Diamond 言 ょ +項 \mathcal{O} る た ば 掲 第 号 中 ک n 六 規 満 に \mathcal{O} \mathcal{O} 面 ک <u>ー</u>に 条 又 げ 中 は 定 \mathcal{O} 表 别 積 及 と 及 場 る 表 前 12 は が てバ 示 \mathcal{O} び 掲 は す ょ 合 文 本 第 項 別 千 刻 別 言 げ 第二 第 刻 n 12 る 条 表 4 表 八 消 文 لح 第 た 第 4 る 12 百 あ \mathcal{O} \mathcal{O} 号に た 費者 $\overline{}$ 文 あ 規 項 言 <u>一</u> 十 ば 掲 <u>つ</u> に ば 言 第 定 ک に て げ る ここに に 表 規 掲 平 12 掲 12 は \mathcal{O} る 紙 号 誤 定 げ 別 ょ 文 方 示 は 0 げ す 巻 解 别 表 言 中 ? 0 部 Ŋ る 1 る を生 IJ 第三 消 た 前 る 文 7 文 1 表 分 \mathcal{O} ば 7 第 条 費 ___ 同 言 メ は 言 \mathcal{O} じ に 第 者 条 は が 別 \mathcal{O} \mathcal{O} 面 さ を 掲 第 別 又 兀 12 積 表 1 表 せ げ 葉 表 が 限 及 第 は 項 誤 示 兀 ル 第二 巻 第 以 な 别 千 る 解 さ 項 ŋ び 別 に 文 7 た 兀 第 設 上二千 表 八 を れ 别 表 に 言 た 第 百 ば 号 生 る け 表 掲 第 撂 号 8) じ 部 5 第 げ 及 \mathcal{O} に + び に 三 に げ に 規 さ 六 分 る れ Ś パ 定 本 せ に 百 表 掲 規 た 掲 平 12 文 文 方 条 1 12 定 部 掲 平 げ 示 げ な 限 言 言 す 分 る ? プ る。 す げ 方 る \mathcal{O} カ 1 \mathcal{O} る文言) 文 規 た る る ミリ 文言 \mathcal{O} IJ か た $\overline{}$ 文言) 定 ば 言 メ わ 8 ک _ を لح に 5 に メ 及 \mathcal{O} (紙 ず、 及 あ لح ょ 表 لح 限 1 U 1 別 は、 び は、 巻 り ル 示 あ n る 1 别 消 設 別 以 刻 别 す る \mathcal{O} ル 表 た 表 第三に 費 4 る 未 第 ば 各文言ごとに」 表 上 表 け は 各 \mathcal{O} 者 た 文 満 三 第 第 文 5 は に ば 表 言 千 言ごとに」 12 れ \mathcal{O} こに に 12 لح 撂 場 掲 葉 六 示 誤 表 た 掲 解 掲 別 部 合 げ 巻 げ 部 百 示 平 げ に げ を 表 部 分 る た る文言 0 分 る 方 生 1 る 第 分 あ 文 ば と、 کے と、 同 言 文 \leq 7 U 文 0 読 لح 言 と 号 IJ さ は 12 7 言 は パ 表 4 規 及 メ せ 别 撂 \mathcal{O} 同 は \mathcal{O} 替 び な 表 げ 同 規 則 条 示 1 لح え 第 本 1 1 る 項 定 第 第 別 部 プ た た 条 別 文 第 12 あ る 三 表 ル 五 分

t

 \mathcal{O}

表

第

に

示

す

る

文

言 を 読 4 Þ す < 表 示 す るこ لح が 困 難 で あ る 面 に 0 1 7 は 規 則 第 三 + 六 条 第 六 項 に 規 定 す る 主 要 な

面 で は な 1 ŧ \mathcal{O} لح 4 な す。

3 容 す ク 小 を 面 る 器 製 容 積 葉 器 \mathcal{O} 包 巻 \mathcal{O} (そ 包 装 た 販 Ł 装 以 \mathcal{O} 売 に \mathcal{O} ば に 単 入 で 上 面 貼 n あ を \mathcal{O} 積 位 る 又 面 が で 入 方 千 場 れ 積 販 は 法 合 12 売 八 包 又 そ 相 に は 百 す ま \mathcal{O} 当 包 る れ お す + 他 場 る け む る 平 葉 合 る 最 れ 方 巻 12 規 小 紙 ? 容 に た 面 は 則 類 IJ ば 器 そ 各 第 す 葉 \mathcal{O} メ $\sum_{}$ 三 包 + 他 巻 装 \mathcal{O} 方 た 水 六 が 1 法 無 条 ば 平 れ ル に 第 を ر 投 色 に 影 類 透 下 \mathcal{O} 項 明 す 口 水 面 行 る 平 積 に 又 る 場 投 は ŧ 規 影 最 定 合 ほ \mathcal{O} す と \mathcal{O} 大 に 面 以 る λ は 積 面 ど 下 \mathcal{O} 積 文 千 合 に 言 無 計 限 紙 八 \mathcal{O} 色 る 百 透 面 表 等 に 明 示 + + に \mathcal{O} と 平 分 主 0 以 لح 方 1 \mathcal{O} 1 う。 3 五. 上 7 L IJ を \mathcal{O} は 7 葉 プ メ 乗 ľ ラ 巻 当 を 1 当 た 1 7 該 ス チ 該 ル 得 ば 最 最 لح た 小 ツ

4 る。 積 言 葉 \mathcal{O} \mathcal{O} そ 巻 販 表 以 売 た \mathcal{O} 示 H. 面 単 に ば \mathcal{O} 位 積 0 を が で 1 面 積 千 て 入 販 売 に 八 れ は 百 相 す 又 当 る 当 は す + 場 該 包 る 平 合 葉 む 紙 方 12 巻 最 3 た は 小 面 等 IJ ば 容 各 を当 器 葉 メ \mathcal{L} 巻 \mathcal{O} 包 該 装 1 た 水 葉 ば 亚 が ル 巻 を 投 な \sum た 下 影 \mathcal{O} 1 ば 口 水 場 面 こに る 平 合 積 場 投 12 最 添 合 影 お え 12 大 け 面 る る は 積 面 方 規 \mathcal{O} 積 法 千 合 12 則 第三 そ 八 計 限 0 百二 る 十 他 に + + 六 $\widehat{\underline{}}$ れ 条 平 分 第 に 以 方 \mathcal{O} 類 3 五. 上 す IJ を 項 \mathcal{O} る X 乗 葉 12 方 規 U 巻 法 定 7 た \vdash 得 す に ル ば ょ た る 文 V) す を 面

る

ک

る

ょ

ŋ

う

ŧ

と

す

る

行 ŧ れ う 又 \mathcal{O} ŧ で は \mathcal{O} 包 あ とす る む 容 場 る。 合 器 を 包 ک 装 除 <_ . \mathcal{O} 当 場 合 該 に 容 は 器 お 同 7 項 包 て、 第 装 が 号 無 規 色 12 則 第 規 透 三十 定 明 す 又 六 る は 条 容 ほ 器 第 لح 包 λ 三 装 تلح 項 لح 無 \mathcal{O} 適 4 色 な 用 诱 す。 明 上 \mathcal{O} 主 当 該 と L 葉 7 巻 プ た ラ ば ス こを一 チ ツ 以 ク 上 製 入 \mathcal{O}

5 及 す 条 第 る び 前 規 項 則 を 項 に 第 限 \mathcal{O} \equiv 規 場 ŋ 定 + 設 合 す 六 け に る 条 5 お 文 \mathcal{O} れ 1 言 て、 た を \mathcal{O} 部 表 規 分と 同 定 示 項 す 4 12 規 る な 規 t 則 定 て、 す \mathcal{O} 第三十 لح る す 第 紙 六 る 面 条 項 等 第 \mathcal{O} 12 几 規 は 項 定 第二 に ょ れ 号 り を 読 を 規 除 4 則 替え 第三 <_ ° て + 六 適 \mathcal{O} 条 例 用 に 第 す る ょ 兀 n 規 項 規 第 則 則 第 第 号 + 12 + 規 六 六 定 条

6

積 同 六 文 定 ょ 百 言 平 に 以 す た 12 条 ŋ 第 方 る 法 撂 下 + \mathcal{O} ば 第 分 ? 主 兀 げ \mathcal{O} 項 IJ る 以 読 要 事 第 上 替 な 条 五. X 文 業 を え 第 言 及 法 面 乗じ 号 後 び \vdash \mathcal{O} 中 次 号 昭 数 别 ル \mathcal{O} 7 表 未 規 12 項 が 和 当 得 第 則 規 満 第 五 六 た 該 で 定 + \mathcal{O} とい 場 号 に あ す 主 九 面 掲 る る 積 要 合 に 年 とき げ う。 製 な 規 法 12 当 定 る 造 律 面 あ 文言」 該 す は た 第 12 0 第三十 ば 0 て る 六 面 $\sum_{}$ 積 き は 表 規 + لح لح 則 が 示 八 六 千 あ み 号。 別 を 第 部 \equiv 条 表 る \equiv な 限 分 第 百 第 + さ 以 ŋ \mathcal{O} \mathcal{O} 三 平 設 六 れ 下 五 は 面 方 項 け 条 又 積 る ミリ 別 各 場 法 5 は が \mathcal{O} 別 千 表 号 合 兀 れ 第 列 لح X た 表 八 \mathcal{O} に 部 第 記 規 お 百 五. 1 六 う。 1 分 12 以 定 11 外 ル に + 撂 に 7 (そ を 掲 平 げ ょ \mathcal{O} げ る 部 方 第 下 \mathcal{O} ŋ 規 読 文 三 口 る \leq 分 面 則 言 中 + る IJ 第 積 文 4 場 替 が 言 メ \mathcal{O} 三 八 当 別 + 合] え 条 \mathcal{O} に 該 以 表 7 六 第 \vdash は、 主 第 条 以 上 適 ル 要 及 用 第 以 五 項 上 千 な 上 び に す 六 \mathcal{O} 三 別 掲 面 る 項 規 百 千 げ 定 表 規 に \mathcal{O} 平 六 第 る 規 に 則 面

同 設 表 以 法 上 他 12 方 あ ル 面 を あ 0 示 そ 以 掲 3 上 き が 条 け る で 積 表 る 消 <u>一</u>千 第 表 す 容 IJ 5 \mathcal{O} \mathcal{O} 上 あ が 示 費 げ るこ 器 他 す メ 千 を 者 示 兀 れ は \mathcal{O} る る 六 ح] さ 項 た 場 ŧ) 八 限 る 包 が 文 と こと れ 第 百 装 言 1 部 表 合 百 り n \mathcal{O} <u>-</u> 設 分 平 般 を ル る 示 に に に に と、 とす 号 方 + け 部 類 表 部 あ 限 あ に 〇 全 ? 平 分 5 12 分 る 示 す 紙 0 0 方 る。 لح 規 IJ る て するこ 12 て れ 7 巻 規 と、 方 ? 等 限 は た は 定 あ 則 メ 以 \mathcal{O} 法 る。 第 1 下 IJ 主 た す る 部 と。 当 る 読 \equiv 1 に メ 分 要 ば 以 别 \mathcal{O} Ĺ な 該 ک + は 替 ょ 表 表 ル (そ ک _ を 六 を で 第 未 り 1 え 示 表 面 あ と 表 条 満 限 区 \mathcal{O} 後 五 部 ル \mathcal{O} が 面 取 あ 第 分 分 を 場 る 1) 示 \mathcal{O} \mathcal{O} に 面 表 に 1) 場 る 設 部 規 兀 掲 下 積 出 合 t L 面 0 合 分 7 げ \mathcal{O} け 則 項 لح 口 が で き す 12 \mathcal{O} 第 第 に 表 る る 当 لح に 5 1 お は あ <u>ځ</u> 場 考 あ 文 う。 該 を 限 三 れ 示 1 る + 号 て、 表 た 合 主 限 え る。 0 Ļ 言 容 中 て 六 に 器 示 読 要 部 \mathcal{O} ŋ 5 部 替 は に、 は な 設 表 分 条 表 包 れ _ に、 لح 分 第 示 装 え 同 面 け る 面 別 部 別 千 同 を 後 五. 号 表 \mathcal{O} 5 面 と 号 除 主 別 分 \mathcal{O} 項 12 表 表 八 を 示 面 れ <_ 表 第 第 百 \mathcal{O} 規 中 規 部 積 要 \mathcal{O} た 1 部 う。 規 則 六 に な 第 同 定 五. 面 分 \neg + + 項 定 第 前 す 又 積 12 \mathcal{O} 分 五. 面 第 平 分 12 \equiv る は が 掲 に 12 項 面 以 \mathcal{O} 千 撂 兀 十 第 方 لح 下 う ょ __ 别 げ \mathcal{O} 積 号 六 3 五. ک 5 げ る り を 表 が あ 別 八 号 <u>二</u>千 条 百二 文 る 中 别 限 第 IJ を る 表 \mathcal{O} 言 六 号 文 乗 メ 開 表 \mathcal{O} 12 ŋ \mathcal{O} 第 کے 六 別 第 設 に + じ 言 規] は 五 に け を、 第 掲 平 7 百 1 \mathcal{O} 表 定 け に お \Box 五. 第 12 す 5 げ 方 亚 ル 得 当 撂 を 1 方 とす 又 項 る ? 行 撂 る れ た 該 げ 7 有 五. 文 IJ 3 に 第 を げ た 主 る 同 す は 面 改 IJ る。 要 文 掲 部 言 メ 積 U 別 る る 号 分] な 表 げ 文 を \mathcal{O} 8 メ 言 面 当 言 そ 第 る 中 限 1 る] 面 \mathcal{O} 文 لح を 方 以 1 該 六 ル に \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} Ŋ

言 。 一 とある のは 別 表第五 に掲げる文言の一又は別表第六に掲げる文言」と読み替えるものと

する。

7 を 読 びに 法第三十 容器包 読 みやすく表 替え 装 後 八 を 条 \mathcal{O} 開 第 示することが 規 則 1 た際 第三十六条 項 \mathcal{O} に 二 規 定に 以 困 難 の 二 ょ 上 で り \mathcal{O} 法第二 ある面に \mathcal{O} 部 規 分に 定 分離 条第三号に に ついて ょ され り 消 は、 費者 規 規 則 規則第三十六条第六項に規定 に 別 定する製造 誤 表 解 第 五. を生じさせ 及 び たばことみ 規 則 な 別 V) 表 なさ た 第 六 \Diamond に に れ する主要 掲 る場 表 示 げ 合 す る る 文 に な 文 言 お 面 言 並 1

ではない

ものとみなす。